

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
公民	政治・経済	2	3年	文系1②選択

使用教科書	副教材等
詳述 政治・経済 (実教出版)	最新図説 政経 (浜島書店)

科目の目標
<p>(1) 社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・現代の諸課題を迫及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、必要な知識及び技能を身につけている。
② 思考・判断・表現	・必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、公正に判断して、多面的・多角的に考察、構想し、表現することで、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

評価方法
記述の点検、確認、分析 行動の観察、確認、分析 (定期テスト、ワークシート、課題レポートその他提出物、授業への取組状況、グループワークや発表等への取組状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
	A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済	1 民主政治の基本原理 2 日本国憲法の基本的性格 3 日本の政治機構 4 現代日本の政治 5 経済社会の変容 6 現代経済のしくみ 7 現代経済と福祉の向上	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治、経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深め、現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方、政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方、経済活動と福祉の向上、市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	○	○
	(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究	1 現代日本における諸課題の探究	少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と企業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。	○	○	○
	B グローバル化する国際社会の諸課題 (1) 現代の国際政治・経済	1 現代の国際政治 2 現代の国際経済	国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献、貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協力の必要性や国際経済機構の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること、現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割、相互依存関係が深まる国際経済の特質、国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	○	○
	(2) グローバル化する国際社会の諸課題の探究	1 国際社会の諸課題の探究	グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。	○	○	○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	日本史探究	3	3年	文系k選択

使用教科書	副教材等
詳説日本史（山川出版社）	新詳日本史（浜島書店） 新日本史史料集成（第一学習社） ゼミナール日本史（浜島書店）

<p>科目の目標</p> <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

評価方法
記述の点検、確認、分析 行動の観察、確認、分析 (定期テスト、ワークシート、課題レポートその他提出物、授業への取組状況、グループワークや発表等への取組状況等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第Ⅲ部 近世	1 織豊政権	・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 ・村落や都市の支配の変化、アジアやヨーロッパとの交流の影響に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・戦国時代までの社会のあり方と比較し、近世がどのような社会に変わったのかについて課題を主体的に追求しようとしている。	○		○
	第8章 近世の幕開け ●歴史資料と近世の展望	2 桃山文化 ①生類憐みの令から見る江戸時代の社会の変化		○	○	○
5	第9章 幕藩体制の成立と展開	1 幕藩体制の成立	・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。	○		○
		2 幕藩社会の構造		○		○
		3 幕政の安定		○		○
6	第10章 幕藩体制の動揺	4 経済の発展	・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	○		○
		5 元禄文化		○		○
		1 幕政の改革		○		○
		2 宝暦・天明期の文化		○		○
		3 幕府の衰退と近代への道				
		4 化政文化				

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地歴公民	地理探究	3	3	理系g選択

使用教科書	副教材等
新詳地理探究 新詳高等地図	新詳地理資料 COMPLETE 2025 新課程版 サクシード地理

科目の目標
<p>①地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解することができる。</p> <p>②地理的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>③地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養おうとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、異文化理解の大切さについての自覚しようとしている。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	現代世界の地理的事象についての事柄や追究の方法を、より深く理解している。地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を探究する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	地理総合を踏まえ、社会的事象を地理的事象ととらえ、多面的・多角的に考察している。また、それを効果的に説明したり、それを基に議論したりすることができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
評価方法	
記述の点検, 確認, 分析 行動の観察, 確認, 分析 (定期テスト, 小テスト, 課題レポートやその他提出物などへの取り組み状況, 授業への取組状況 等)	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	現代世界の系統 地理的考察 (1) 自然環境	地形 気候 日本の自然環境	諸事象の形成されるメカニズム・特徴を理解している。また、それらがもたらす人々の生活への恵みと脅威についてや、地域の産業、生活との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	
		地球環境問題	環境問題の発生している地域分布について理解し、その背景について多面的・多角的に考察し、表現している。また、解決に向けた取り組みについて主体的に考察しようとしている。	○	○	○
5	(2) 資源, 産業	農林水産業 食糧問題 エネルギー・鉱山資源 資源・エネルギー 工業 第3次産業	各種産業の発展とその地域差また時空間的变化について及び、それらが生まれる背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 また、各種産業の抱える問題点について理解し、解決の方法について主体的に考察しようとしている。	○	○	○

6	(3) 交通, 通信, 観光	交通・通信 観光 貿易	グローバル化の中でこれらの発展及び発展の地域差、発展に伴う課題などについて理解している。また、各分野の相互関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	
	(4) 人口, 村落・都市	人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	事象の空間的な規則性、傾向性について理解している。また、それらが生まれる背景について、多面的・多角的に考察している。 人口、居住・都市問題の現状について理解し、それらの解決の方法について主体的に考察しようとしている。	○	○	○
7 8 9	(5) 生活文化, 民族・宗教	衣食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題	生活文化、民族・宗教などにの事象の地域差について理解し、それらの背景について多面的・多角的に考察している。 民族、領土問題の現状について理解し、それらの問題の原因について理解し、解決の方法について主体的に考察しようとしている。	○	○	○
	現代世界の地誌的考察 (1) 現代世界の地域区分	地域区分	世界を幾つかに区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。	○		
10 11 12 1	(2) 現代世界の諸地域	中国・韓国 ASEAN諸国 インド 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ EU諸国・ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オーストラリアとニュージーランド	各地域にみられる地域の特徴や地球的課題について理解している。また、地域間の結びつきとその時空間的变化について理解している。 地域の特徴について、統計などの資料を基に、地域内での比較もしくは他地域との比較などを通じて考察している。 各地域で起こっている地球的課題について理解している。また、課題の背景について多面的・多角的に考察している。 グローバル化が進む中で、その地域で見られる地球的課題の他地域との関連について、多面的・多角的に考察している。 各地域で見られる地球的課題の解決方法について、授業の内容を通じて主体的に考察しようとしている。	○	○	○
	現代世界におけるこれからの日本の国土像 (1) 持続可能な国土像の探究	将来の国土の在り方 持続可能な日本の国土像の探究	我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 また、これからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して多角的に考察している。	○	○	○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科		地歴公民	科目	公共演習	単位数	2
教科書 副教材		「公共,政治・経済」(実教出版) 実践攻略大学入学共通テスト問題集 ※教科書は1年次「公共」で使用したものを継続使用				
学習目標		大学入学共通テスト『公共,政治・経済』の問題で6割以上の得点ができる力をつけることを目標とする。				
学習内容		1年次の現代社会の内容を復習しつつ、問題演習を中心に授業を進める。 問題集やプリントなどを利用する。				
評価の観点		①関心・意欲・態度・・・資料、新聞、インターネットも活用し様々な現代社会の動きに興味関心を持っているか。 ②思考・判断・表現・・・多面的・多角的に考察する姿勢と、事象について客観的な見解を持つことができるか。 ③技能・・・資料、新聞の読み取り、インターネット検索力の向上が達成されているか。 ④知識・理解・・・現代における政治、経済、国際関係の基礎知識を身につけているか。				
評価方法		評価項目と観点(例)	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう姿勢	
		ペーパーテスト(定期テスト)	○	○	○	
		学習に取り組む姿勢	○		○	
		課題・提出物	○	○		
学期	月	内容	到達目標			備考
I	4	公共(公共の扉) 1 社会を作る私たち 2 人間として生きる	自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解すること。 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。			定期試験等
	5	3 民主社会の倫理				
		現代日本の政治 1 民主政治の基本原則	個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解すること。 公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見だし、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現すること。			
	6	2 日本国憲法の基本的性格 3 日本の政治機構				
	7	4 現代日本の政治				
II	9	現代日本の経済 1 経済社会の変容 2 現代経済のしくみ	人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解すること。			定期試験等
	10	3 現代経済と福祉の向上				
		グローバル化する国際社会 1 現代の国際政治 2 現代の国際経済	個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現すること。			
	12	パターン別問題演習				
III	1	2025年度大学入学共通テスト試	大学入学共通テストへの実力を身につける			定期試験等
	2	作問題				

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	世界史探究	3	3	文系k選択

使用教科書	副教材等
世界史探究（実教出版）	世界史探究マイノート新課程版（実教出版） 新世界史研究ノート標準編（啓隆社） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）

科目の目標
<p>① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 必修科目である「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界史を探究するための自分の学習状況を理解、把握している。</p>

評価方法
各種テスト 授業ノート・プリント類の記述 提出物の取り組み状況

月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第8章 大交易・大交流の時代	1 明と東アジア 2 ヨーロッパの海外進出 3 大交易時代の海域アジア	・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解させる。 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
5	第9章 アジア諸地域の帝国	1 中央ユーラシアと西アジアの帝国 2 南アジアの帝国 3 東南アジア諸国の発展 4 清と東アジア	・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
6	第10章 近世ヨーロッパの形成と展開	1 ルネサンスと宗教改革 2 主権国家体制の成立 3 激化する覇権競争 4 近世ヨーロッパの社会と文化	・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。 ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
7	第11章 産業革命と環大西洋革命	1 イギリスの産業革命 2 南北アメリカの革命 3 フランス革命とナポレオン帝政	・産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
9	第12章 19世紀後半のヨーロッパとアメリカの国民国家	1 ヴィーン体制と1848年の革命 2 19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3 19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化	・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
10	第13章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	1 ヨーロッパの帝国主義 2 アメリカの帝国主義 3 西アジアの改革運動 4 アフリカの分割と抵抗 5 インドの植民地化と民族運動 6 東南アジアの植民地化と民族運動 7 東アジアの国際関係の再編	・国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解させる。 ・第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解させる。 ・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
	第14章 第一次世界大戦と諸地域の変容	1 第一次世界大戦 2 ヴェルサイユ体制と国際協調 3 アジアのナショナリズムの台頭	・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 ・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○

11	第15章 第二次世界大戦 と戦後の国際秩序	1第二次世界大戦 2満州事変と日中戦争 3第二次世界大戦 4戦後の改革と冷戦のはじまり	・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解させる。 ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 ・世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる	○	○	○
	第16章 冷戦と現代世界	1冷戦下の安全保障体制 2脱植民地化と非同盟 3冷戦の終結と現代世界	・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解させる。 ・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解させる。	○	○	○
12	第17章 世界経済の展開	1冷戦と経済統合 2第三世界の経済 3産業構造と社会の変化 4グローバル化と新自由主義の時代	・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○
1	第18章 科学技術の時代 と知識基盤社会	1地球環境の未来 2バイオ・生命科学と私たちの生活 3ICTの発展と情報社会 4知識基盤社会の形成 5科学技術と平和		○	○	○
1	地球世界の課題の探究		・第16～18章で学習した事項を参考にして、持続可能な社会の実現を視野に入れ、「地球世界の課題の形成に関わる」主題について、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察、構想して探究し、地球世界の課題を理解させる。・「世界史探究」の学習の総まとめとして位置づけ、生徒がこれまでに習得した知識や技能を活用して主体的に探究するよう指導する。 ・紛争解決や共生、経済格差の是正や経済発展、科学技術の発展や文化の受容については、それらが相互につながりをもっていることに気付かせる。	○	○	○

令和8年度 3年次 世界史探究演習シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	歴史総合・世界史探究演習	2	3	文系1①選択

使用教科書	副教材等
世界史探究（実教出版）	世界史探究マイノート新課程版（実教出版） 新世界史研究ノート標準編（啓隆社） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）

科目の目標
歴史総合・世界史探究を受験科目とする生徒対象。世界史の流れと個々の事象に対する理解をより深め、共通テストおよび私大入試に対応できる実力を身に付ける。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	2年次からの既習事項を正しく理解し、活用することができる。設問の意図や要求を正しく汲み取ることができる。またグラフや地図・史料を正確に読み取り、答えを導き出すことができる。
② 思考・判断・表現	一つの歴史的事象からでも、様々な角度から問い方が生まれることを判断できる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	世界史を探究するための自分の学習状況を理解、把握している。

評価方法
各種テスト 授業ノート・プリント類の記述 提出物の取り組み状況

学習計画						
月	【単元名】	【学習内容】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	演習①世紀史	前5～後3世紀	世紀ごとに、各時代の特徴や地域ごとのつながりを理解する。			
5		4～11世紀		○	○	○
6		12～17世紀				
7		18～20世紀				
9	演習②テーマ史	経済史	テーマごとに、各時代の特徴や地域ごとのつながりを理解する。			
10		制度史		○	○	○
11		文化史				
12	演習③総合演習	共通テスト対策	共通テスト・私大試験に対応する実践的な学習力を身に付ける。			
1		私大試験対策		○	○	○
2						

令和7年度 3年次 教科シラバス

教科		地歴公民	科目	新聞講読とマルチメディア		単位数	2
教科書 副教材		「池上彰の新聞勉強術」池上彰(文春文庫)					
学習目標		新聞を読むことで、今世の中で実際に起きていることを知り、その背景や意味を考える。またそうすることにより、批判的な思考力や決断力、たくさんの情報から必要な情報を選び取る力（リテラシー）を身につける。更にインターネットや雑誌などのメディアについても学ぶ。					
学習内容		新聞について基礎的な知識を学び、実際の新聞を活用して毎回テーマに従って学習する。また、インターネットでの検索などで情報の選び方を学習する。					
評価の観点		①知識・技能・・・新聞の構成、様々なメディアについての基礎知識を身につけているか。新聞の読み取り、インターネット検索力の向上が達成されているか。 ②思考・判断・表現・・・多面的・多角的に考察する姿勢と、事象について客観的な見解を持つことができる。 ③学びに向かう姿勢・・・新聞、インターネットを活用し様々な現代社会の動きに興味関心を持っているか。					
評価方法		評価項目と観点（例）	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう姿勢		
		課題提出	○	○	○		
		課題への取り組み	○	○	○		
		ファイルの記録			○		
学期	月	内容	到達目標			備考	
I	4	(ガイダンス) テキストから Ⅰ新聞の研究 その1	テキストを通じて新聞記事の基本を学ぶ 構成について学ぶ 「コラム」について学ぶ			ワークシートの提出	
	5		社説の研究 記事を読み取る 新聞広告の研究				
	6	Ⅱ新聞を活用する その1	国際面の研究 「投書欄」について学ぶ 新聞感想コンクールに参加				
	7		「コラム」の要約				
II	9	Ⅲ WE Bサイトで調べる	報道写真の研究 「新聞記事」の要約・意見 地方新聞のWE Bサイトの研究			A 4一枚にまとめる A 4一枚にまとめる 校内に掲示する	
	10	Ⅳ 新聞を活用する その2	3大新聞のオンラインページから 「まわしよみ新聞」作成				
	11	Ⅴ 時事問題を学ぶ Ⅵ 「新聞作成」	新聞から取りあげた時事問題について 意見を持ち、グループで発表する アンケート依頼、各自パソコンで作成				
	12						
III	1		はがき新聞の作成 新聞の完成・配布				

令和7年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	歴史総合・日本史探究演習	2	3年	文系1①選択

使用教科書	副教材等
詳説日本史（山川出版社）	新詳日本史（浜島書店） 新日本史史料集成（第一学習社）

科目の目標
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。
評価方法	
記述の点検、確認、分析 行動の観察、確認、分析（定期テスト、ワークシート、課題レポートその他提出物 等）	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	1. 原始・古代の日本と東アジア	第I部 原始・古代 第1章～第4章	・原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ・小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程、および古代の国家・社会の変容について、考察・表現できる。	○	○	○
6		2. 中世の日本と世界	第II部 中世 第5章～第7章	・武家政権の伸長、社会や文化の特色を理解している。 ・地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 ・中世の国家・社会の展開および変容について考察・表現できる。	○	○
7	3. 近世の日本と世界		第III部 近世 第8章～第10章	・幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ・幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の結合、近代化の基盤の形成について理解している。 ・近世の国家・社会の展開および変容について考察・表現できる。	○	○
9		4. 近現代の地域・日本と世界	第IV部 近代・現代 第11章～第18章	・立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容について理解している。 ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について考察・表現できる。	○	○
11	・産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成について理解している。 ・日本の工業化の進展、近代の文化の形成について考察・表現できる。			○	○	○
12	・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について理解している。 ・第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて考察・表現できる。			○	○	○
1	・我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容について理解している。			○	○	○

・戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における日本の役割について考察し、表現できる。

